

ぼうけん なぞと
冒險・謎解きブック

きくちじょう

鞠智城を 探ろう！

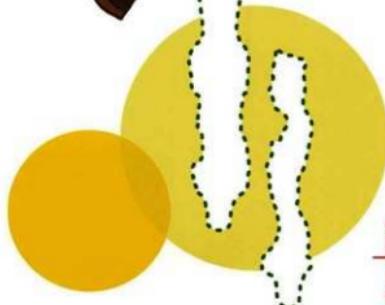
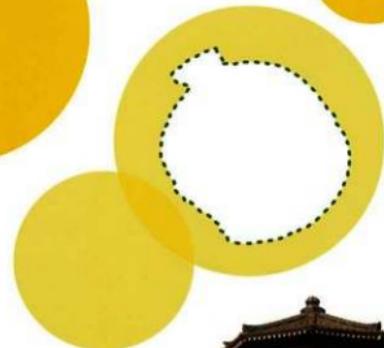
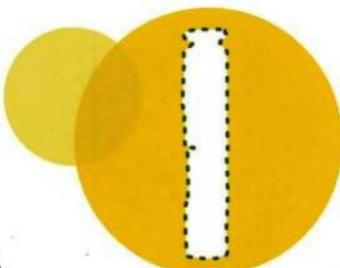


「遺物」とは、遺跡の中から

掘り出されたもののことと言います。

鞠智城跡からは、土器や瓦、仏像、木製品など

たくさんのが発見されています。



第5号
出土した遺物





いぶつ

「遺物」には、鞠智城の たくさん隠されていま

きくちじょう

きくちじょうあと

鞠智城跡の中からは、これまでの発掘調査によつてたくさんのもの(遺物)が

はつきん

発見されました。これらのものは鞠智城についてたくさんのこと教えてくれます。

かく

はつくつちょうさ

はつくつちょうさ

いぶつ

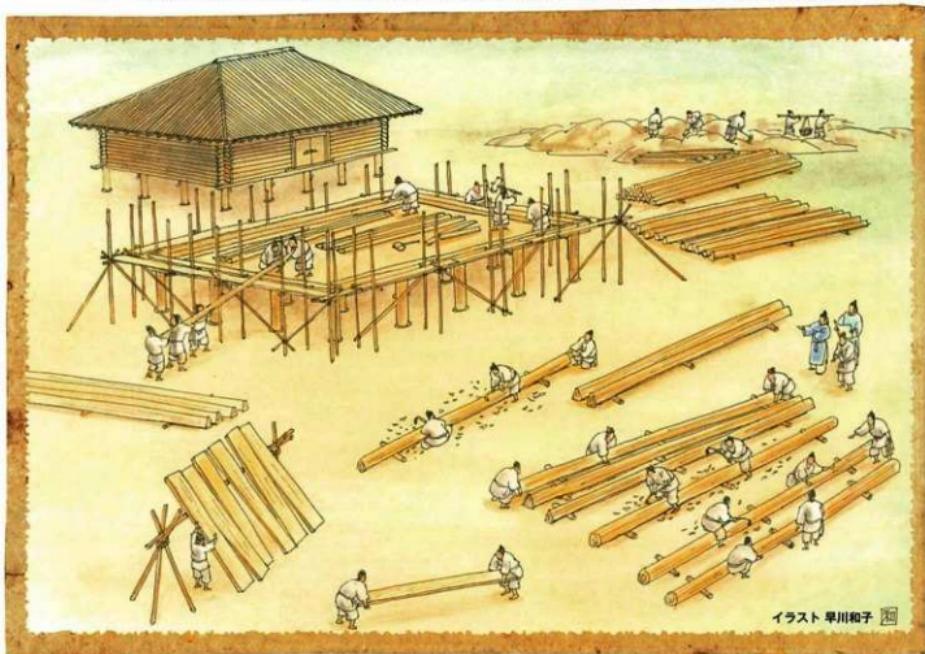
おし
鞠智城についてたくさんのこと教えてくれます。

イラスト 早川和子

鞠智城跡から発見された主な遺物



●銅造菩薩立像●

どうそうばつりゅうぞう



●木筒●

もっかん

●軒丸瓦●

のきまるかわら

●木製品●

もくせいひん

なぞ と 謎を解くヒントが す!

クイズに挑戦!

はっけん 鞠智城跡ではどんなものが発見されているの?



土器や瓦、木製品のほか、仏像などが見つかっています。

昔の人々が使用した土器や道具などのモノが長い年月の中で土に埋もれ、その後、遺跡から発見されたものを「遺物」と呼びます。鞠智城跡の発掘調査では、土器、瓦、木製品、仏像など、鞠智城の歴史を物語る数多くの「遺物」が発見されています。

しゃつど どこからどれくらい出土しているの?

たでのあと ちょいちあと ばしょ
建物跡や貯水池跡など、様々な場所から遺物が出土しています。

これまでの発掘調査によって鞠智城跡内のいたる所から遺物が発見されています。その数は、遺物収納用コンテナ約400箱分。特に人々の営みの中心であった建物跡周辺や貯水池跡からたくさん出土しています。これら出土した遺物は、1300年前に存在した鞠智城にまつわる物語を私たちに語ってくれています。



遺物から鞠智城の何がわかるの?



遺物は、城がいつ頃造られたのか、どのような人がいたのか、何をしていったのかの謎解きのヒントになります。

出土した土器の特徴などから、鞠智城が7世紀後半に造られ、10世紀中頃まで続いていたことがわかりました。また、兵士たちが食器として使った土器や土木作業に用いた鍬などの農工具は、鞠智城での日常生活の様子を教えてくれます。また、蓮の花の文様が残る瓦や仏像は朝鮮半島との交流を示しています。

クイズ-1
鞠智城跡で見つかった遺物にあてはまらないものはどれでしょう?

1. 仏像
2. 瓦
3. 妖怪メダル

クイズ-2
鞠智城跡で出土した瓦にある文様は何の花の文様でしょう?

1. チューリップ
2. コスモス
3. 蓮(はす)

クイズ-3
発見された仏像はどこでつくられたものと考えられているでしょう?

1. エジプト
2. オランダ
3. 百濟(くだら)



●須恵器●

すえき



●土師器●

はじき



●銅造菩薩立像

どうぞうぼさつりゆうぞう

貯水池跡から出土しました。この仏像は、その特徴などから、7世紀に朝鮮半島の百濟という国で作られ日本に持ち込まれた可能性が高いと考えられています。



正面 側面

●瓦

かわら

のきるがわら まるがわら ひらがわら
軒丸瓦 丸瓦 平瓦とい
う3種類の瓦が、合計約1
万900点出土しています。
軒丸瓦には、蓮の花をかた
どった文様が施されています。
これは朝鮮半島の瓦
の影響を受けたものです。



軒丸瓦 丸瓦

●須恵器

すえき

須恵器とは、古墳時代中頃(5世紀)に朝鮮半島から伝わった技術で焼いた器で、硬くて灰色をしています。鞠智城跡では、お椀や水を貯める壺などの日常生活に用いられた須恵器が出士しています。



●木簡

もっかん

木簡とは、細長い木の板に墨で字を書いたもので、紙がまだ貴重品だった古代において多く用いられました。鞠智城跡では、貯水池跡から「秦人忍五斗」と書かれた木簡が1点出土しています。



●木製品

もくせいひん

よごづら くわ え のうこうぐ
横樋・鍬・柄などの農工具、
柱などの建築材などが貯
水池跡から出土しました。
農工具も建築材もそれらが
必要となる時まで貯水池の
中で保管していたと考えら
れます。



●土師器

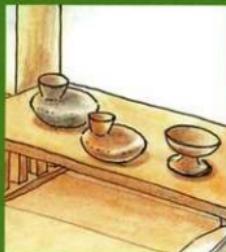
はじき

土師器とは、古墳時代から平安時代にかけて作られた器で、赤褐色をしています。鞠智城跡では、お椀のほか、食べ物の煮炊きに使われた壺など日常生活に用いられた土師器が出土しています。



土器にまつわるこぼれ話

遺跡を発掘すると必ずといっていいほど出てくる土器。鞠智城跡からもたくさんの土器が発見されています。土器は同じ種類のものでも時代によって少しづつ形が変わってきます。現在でも例えば、自動車のデザインが時代によって少しづつ変わってくるのと同じ現象です。考古学者は土器の形の特徴から、その土器が作られた時代、そしてその土器が出土した遺跡の年代を推定します。そう、土器は時代を測る「ものさし」なのです。



この電子書籍は、冒険・謎解きブック鞠智城を探ろう！5 を底本として作成しました。閲覧を目的としていますので、精確な図版などが必要な場合には底本から引用してください。

底本は、古代山城がある市町村教育委員会、熊本県内の市町村教育委員会と図書館、都道府県の教育委員会、考古学を教える大学、国立国会図書館などにあります。所蔵状況や利用方法は、直接、各施設にお問い合わせください。

書名：冒険・謎解きブック鞠智城を探ろう！5 出土した遺物

発行：熊本県教育委員会

〒862-8609 熊本市中央区水前寺6丁目18番1号

電話：096-383-1111

URL：<http://www.pref.kumamoto.jp/>

電子書籍制作日：西暦2002年8月18日